

WICIシンポジウム Session2「統合的思考による 企業組織内サイロ問題の解消を如何に図るか？」

* 企業情報開示の前提について



企業における情報開示は、厳しいリスク管理(内部統制)が徹底されているから実現できるもの。自社内の情報の網羅的かつ迅速な収集を図り、開示の正確性を確保するためには、当然の事だが、開示担当部署のみでなく、全社的対応が必要である。また、リスク管理上もこの社内対応は絶対的要件とも言える。一方で、開示判断の独断性を排除し、多面的な判断を可能とする為にもこの事は必要欠くべからざる対応であり、その為にも常に全社的な開示の重要性に対する認識を高めておく努力が必要。

統合報告の真の意義を理解する前に、各部門で「新しい開示義務・要請」と間違っ
て理解されると、それだけで嫌悪感を有する部門も生じうる。その為、「Silos」の定義
を「旧守派」とでも考えてこの問題を論じるか、それとも統合報告問題を単なる理解不
足に対する対応を如何にするかどうかで、方法論が分かれるかもしれない？特にグ
ローバルな活動を展開している企業にとって、当該報告に掛かる各種情報をアナリス
ト向けではなく、全てのステークホルダーに対して如何に分かり易く説明するかが、
今後のIR＝企業PR面で問われる可能性は高いと思われる。非財務情報に関する開
示の必要性に関しての社内啓蒙活動は喫緊の課題とも言えるのでは？

* 提起された三つの問題に関して



1. 組織内の主要なサイロをどう定義付けするか？

@関係する全ての部門と考えては？ 先ずは開示主管部門が「何故にこの種の開示が必要とされているかを社内に徹底させることが尤も重要。

2. 当該サイロの解消に当たって誰が主導的役割を果たすべきか？

@経営トップ、取締役・執行役員はもとより、全ての部門長が対応の必要性を理解すべし。ESG・CSR・内部統制・知的資産等々の非財務情報開示の重要性に対する真の理解を図るべし。これが重要で、多分、最も困難な作業かもしれない。

3. 財務・非財務の企業情報を統合的に俯瞰しようとする際の障害は？

@企業内で当該情報の包括的集約が行なわれているかどうかにかかっている。リスク管理経営上も当然に必要な手当てだが、各社ともまだまだといったところか？アナリストなどへの対応に関しては、開示担当部門に集約されていれば、効果的・合理的な説明は如何様にでもなる。